

No.65

領域：	グローバル、ビジネス		
テーマ：	グローバリゼーションのなかでの日本の企業		
担当者名：	広渡 潔		
開講時期：	後期：月曜 4・5・6限	募集定員：	30名
内容：	最近のグローバリゼーションと企業をめぐる大きな変化は内外の企業がSDGsを経営のなかに取り込み始め、企業経営の新たな世界標準となりつつあることである。これは単なる企業のCSRの一環なのか、あるいはSDGsを新規事業構築やブランド構築の機会と捉えているのであろうか。SDGs経営を進める日本企業の多様なあり方を分析し、その現代的な含意を考えていく。		
到達目標：	多くの文献、データ、資料、ヒアリングなどを通じて、SDGsに取り組む業界、企業の戦略を概観しながら、グローバリゼーションにおける企業のあり方についての理解を深めていく。		
講義方法：	学生主体のゼミナール形式（発表とdiscussion）と個別課題についてのsupervision（レポート作成にむけての個別指導）を組み合わせながら行う。 （テキスト） ①「SDGs入門」村上芽、渡辺珠子（日経文庫） ②「SDGs経営“社会問題解決”が企業を成長させる」松本喬（日刊工業新聞社）		
準備学習：	特になし。		
成績評価：	講義毎の個別課題の提出、授業やGroup Discussionへの取り組み姿勢、授業態度などを基にした平常点と、SDGsと企業に関する最終レポート（4000字程度）とプレゼンテーションなどの課題評価を加味して行う。前者のウェイトが40%、後者のウェイトが60%。		
欠席基準：	授業実施回数の3分の1（端数は切り捨て）以上を欠席した場合は、単位を修得することができない。		
講義構成：	前半：テキストを活用しながらSDGsの背景とその概要、主要企業の取り組み姿勢についての調査、分析を行っていく。 中盤：主要企業へのフィールドワーク 後半：レポート作成とプレゼンテーション		
履修条件：	特になし		
推奨科目：	特になし		
選考方法：	就職活動を控えた3回生を優先する。		
備考：			
説明会：	特に行わないが、照会のある方は適宜メールなどを通じて面談のアポをとること		